

高齢者介護施設のための 知っ得情報

2022年12月27日

京都府保健環境研究所

藤田直久

n-fujita70@pref.kyoto.lg.jp

隔離解除基準 2022/9/7 (厚労省＋京都府)

- 陽性者の隔離解除基準（有症状と無症状）
- 濃厚接触者の観察期間

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

<https://www.mhlw.go.jp/content/000987004.pdf>

<https://www.pref.kyoto.jp/kentai/corona/youseisha.html#:~:text=%E7%99%BA%E7%97%87%E6%97%A5%E3%81%8B%E3%82%897%E6%97%A5%E9%96%93,%E7%99%82%E9%A4%8A%E6%9C%80%E7%B5%82%E6%97%A5%E3%81%A8%E3%81%AA%E3%82%8A%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82>

2022/12/09 作成

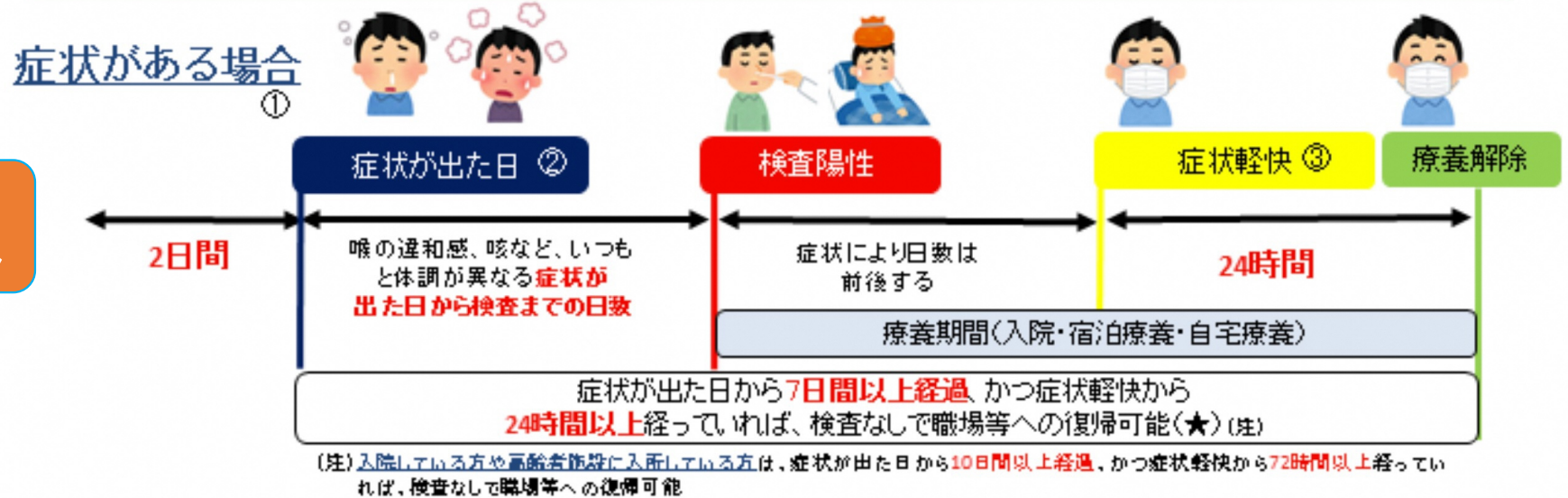
京都府保健環境研究所
京都府新型コロナウイルス感染症
施設内感染専門サポートチーム
藤田直久

新型コロナウイルス感染症の患者に対する療養解除基準について（1）

新型コロナウイルス感染症 陽性だった場合の療養解除について

（★）症状がある場合は10日間、症状がない場合は7日間が経過するまでは、**感染リスクがあります。**

検温など自身による健康状態の確認や、高齢者等ハイリスク者との接触、ハイリスク施設への不要不急の訪問、感染リスクの高い場所の利用や会食等を避けること、マスクを着用すること等、**自主的な感染予防行動の徹底をお願いします。**



有症状

- ・ <症状のある方>
- ・ 発症日から7日間経過し、かつ、症状軽快から24時間経過している場合、8日目から療養解除を可能
- ・ ただし、現に入院している場合には、発症日から10日間経過し、かつ、症状軽快後72時間経過した場合には11日目から療養解除を可能

新型コロナウイルス感染症の患者に対する療養解除基準について (2)

症状がない場合

無症状



- ① 人工呼吸器等による治療を行わなかった場合。
- ② 症状が出始めた日とし、発症日が明らかでない場合には、陽性が確定した検体の採取日とする。
- ③ 解熱剤を使用せずに解熱しており、呼吸器症状が改善傾向である場合。
- ④ 陽性が確定した検体の採取日とする。

<無症状の方>

- 検体採取日から7日間を経過した場合には8日目に療養解除を可能とする。
- 5日目の検査キットによる検査で陰性を確認した場合には、5日間経過後(6日目)に療養解除を可能とする。

ただし、以下の厚労省のコメントを参照し、最終的には管理者の責任において判断する

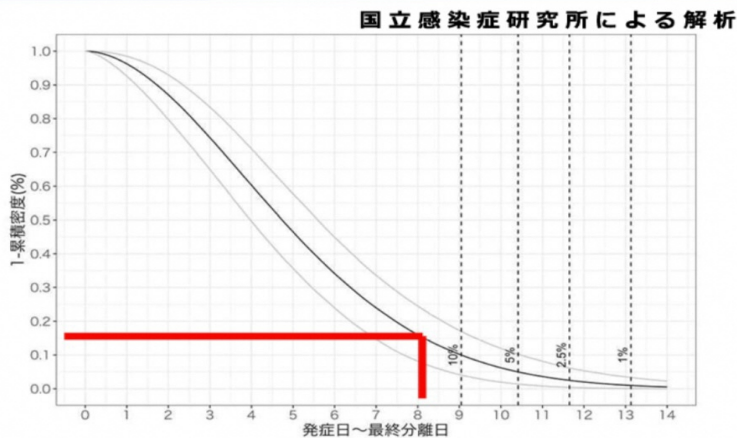
患者の療養解除基準の見直しについて

<https://www.mhlw.go.jp/content/000987004.pdf>

重要

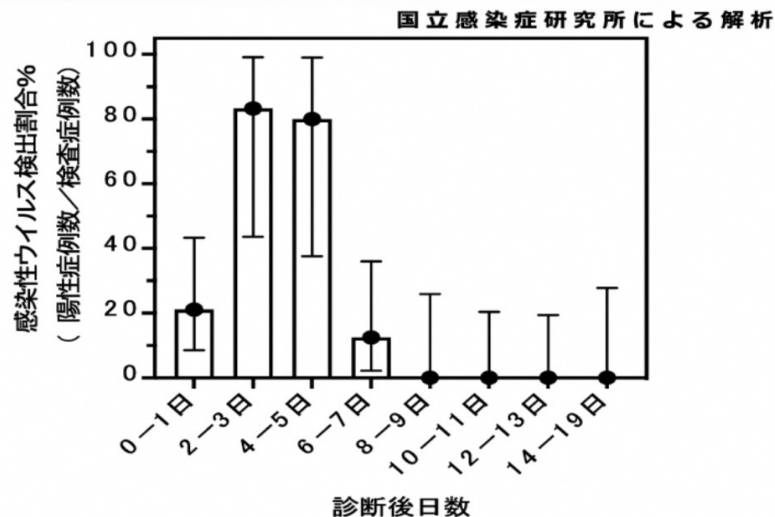
- 新型コロナウイルス感染症に感染し**症状がある者**については、国内データによれば発症後10日目までは感染リスクが残存し、発症後7日目までが感染力が高く、5日間待機後でもまだ3分の1の患者が感染性のあるウイルスを排出している状態。8日目（7日間待機後）になると、**多くの患者（約85%）は感染力のあるウイルスを排出しておらず**、感染力のあるウイルスを排出している者においても、**ウイルス量は発症初期と比べて7日目以降では6分の1に減少した**との報告がある。このため、専門家の意見を踏まえ、Withコロナを見据え、**発症日から7日間経過し、かつ、症状軽快から24時間経過している場合、8日目から療養解除を可能とする**。ただし、現に入院している場合には、従来通り、10日間の療養を継続する。
- **無症状者**については、国内データによれば6日目（5日間待機後）に同様に多くの患者（約90%）で感染可能なウイルスの排出がなくなるとの報告がある。一方で、データが限定的であること、無症状者については感染時期が特定できず、より慎重な対応が必要であることから**療養期間は引き続き7日間とするが**、専門家の意見を踏まえ、Withコロナを見据え、**5日目の検査で検査陰性である場合には、5日間経過後（6日目）に療養解除を可能とする**。
- これらの前提として、**症状がある者は10日間、無症状者は7日間、自身による検温、高齢者等重症化リスクのある方との接触や感染リスクの高い行動を控えていただく等、自主的な感染予防行動の徹底をお願いする**。

陽性者（有症状）におけるウイルス排出の推移



* 点線は累積密度のブートストラップサンプルの中央値の10%, 5%, 2.5%, 1%点

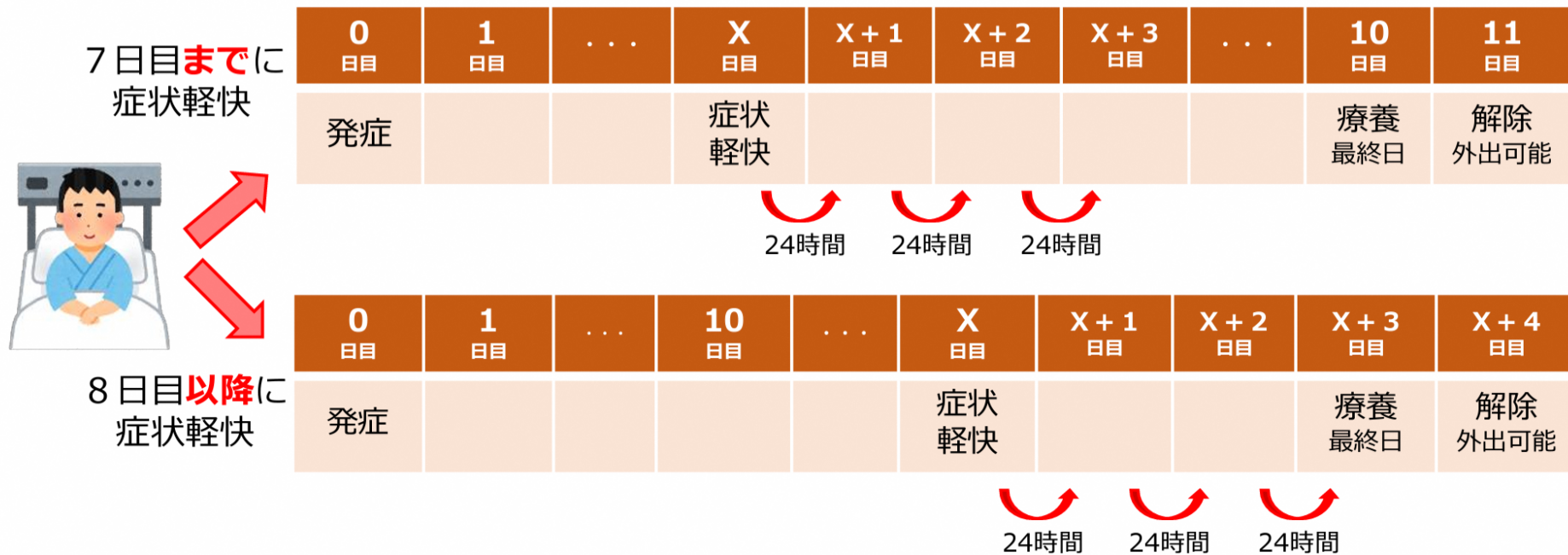
陽性者（無症状）におけるウイルス排出の推移



高齢者介護施設の利用者の場合

【③入院患者又は高齢者施設入所者の場合】

発症日から10日間経過し、かつ、症状軽快後72時間経過した場合



• <https://www.pref.kyoto.jp/kentai/corona/documents/220927kikan2.pdf>



京都府

新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者に係る待機期間について

- 保健所による積極的疫学調査を実施し、濃厚接触者を特定し、行動制限を求めます。
- 施設の入所者・従事者で濃厚接触者となった方の待機期間については、感染者と最終接触があった日から5日間（6日目解除）（パターン1.）ですが、2日目及び3日目の抗原定性検査キットを用いた検査で陰性を確認した場合は、3日目から解除が可能（パターン2.）です。
- なお、濃厚接触者となった従事者の方は、待機期間中においても、一定の条件の下、毎日の検査による陰性確認によって、業務従事が可能（パターン3.）となります。
- 上記のいずれの場合であっても、7日間が経過するまでは、検温など自身による健康状態の確認や、ハイリスク者との接触やハイリスク施設への不要不急の訪問、感染リスクの高い場所の利用や会食等を避け、マスクを着用すること等の感染対策を行ってください。
- 2日目、3日目に陰性確認することで待機期間を短縮される場合、短縮の判断を個別保健所に確認する必要はありません。
- 無症状の方が抗原定性検査キットを用いて、陰性確認をする場合、唾液検体を用いた検査を用いることはできません。
- 薬事承認を受けた抗原定性検査キットのみ使用できます。
- 期間短縮のための検査は、検査手順を理解したうえで、検査対象者ご自身で検査できる方が対象となります。

入所者	従事者		日							7日目
			0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	
○	○	パターン ①	最終接触	不要不急の外出自粛（5日間）					解除	検温など自身の健康状態の確認等
○	○	パターン ②	最終接触	キット	不要不急の外出自粛	検査	検査	解除	検温など自身で健康状態の確認等	
×	○	パターン ③ ※ワクチン接種歴等、一定の条件あり	最終接触	PCR	検査	検査	検査	解除	検温など自身で健康状態の確認等	
				キット	検査	検査	検査	解除		

感染サポートチームはパターン①を推奨します。
理由：4～5日目に発症する従事者は皆無ではないため

<https://www.pref.kyoto.jp/kentai/corona/noukoutaiki.html>

無症状陽性者は何%？

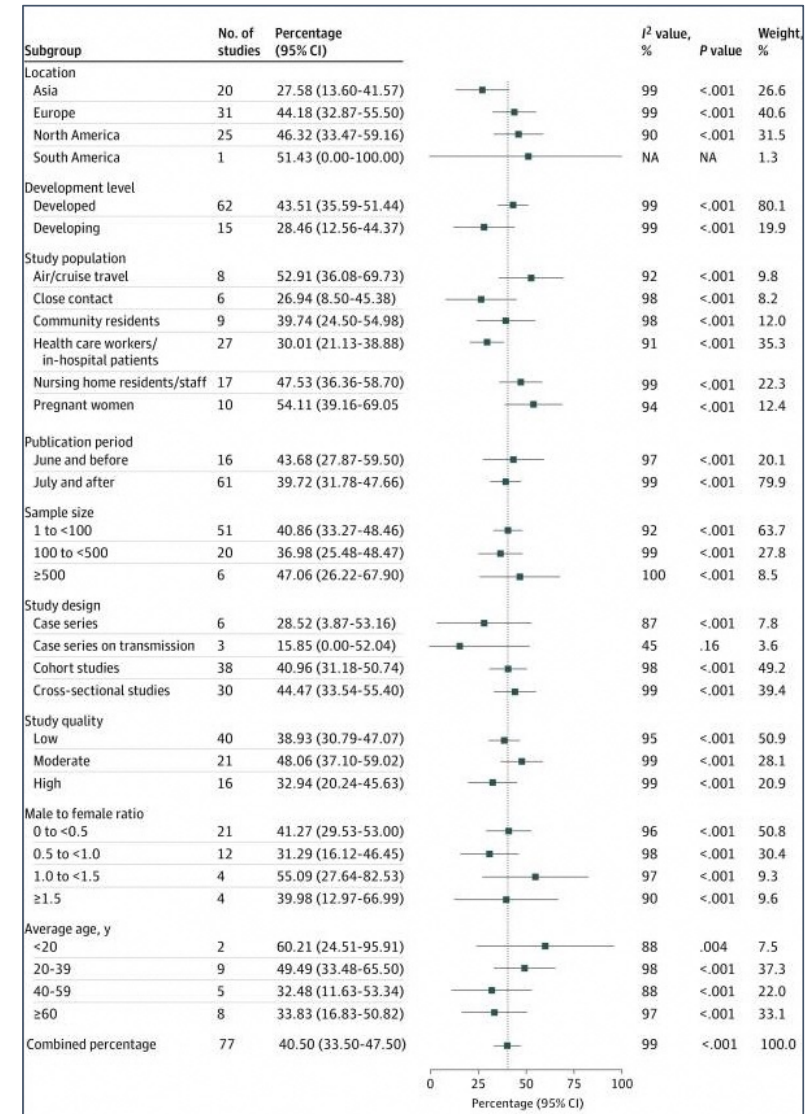
無症候性陽性者の割合は？

- 95の研究論文：29,776,306人に検査実施
- 無症候性陽性者は
 - 全体：0.25% (95% CI, 0.23%-0.27%),
 - 介護施設（利用者と職員）：
 - 4.52% [95% CI, 4.15%-4.89%]
 - 旅行者：2.02% [95% CI, 1.66%-2.38%]
 - 妊婦：2.34% [95% CI, 1.89%-2.78%]
- 陽性確定者の中で
 - 全体：40.50% [95% CI, 33.50%-47.50%]
 - 介護施設（利用者と職員）：
 - **47.53% [95% CI, 36.36%-58.70%]**
 - 妊婦：54.11% [95% CI, 39.16%-69.05%]
 - 旅行者：52.91% [95% CI, 36.08%-69.73%]

Global Percentage of Asymptomatic SARS-CoV-2 Infections Among the Tested Population and Individuals With Confirmed COVID-19 Diagnosis: A Systematic Review and Meta-analysis

JAMA Netw Open. 2021 Dec 1;4(12):e2137257.

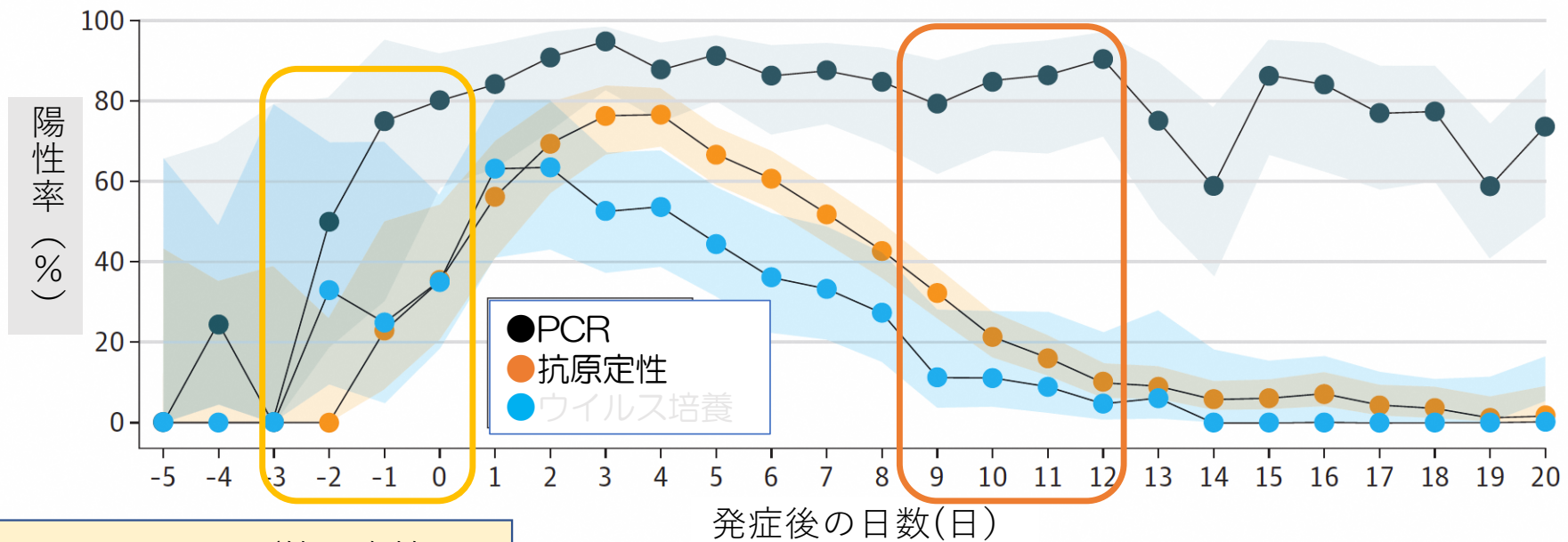
doi: 10.1001/jamanetworkopen.2021.37257. PMID: 34905008; PMCID: PMC8672238.



PCRと抗原定性検査の陽性率は？

PCRと抗原検査とウイルス培養

Figure 1. Daily Percentage of Positive SARS-CoV-2 Tests in Participants With Reverse Transcription-Polymerase Chain Reaction (RT-PCR)-Confirmed Infection



−2日：PCR+/抗原定性-
−1日：抗原定性+

Viral culture

22 38 41

10日目 PCR+80%/抗原定性+20%

2週間経過すればまず大丈夫！

19

57

19

抗原定性検査の陽性率は状況で異なる！

➤ 有症状と無症状

● 無症状者

● 抗原検査は「陽性率約50%」

● 有症状でも発症初期50%陽性

● 「陰性」もあり

● 翌日にもう一度検査する！

感染対策は
疑えば開始

➤ ワクチン接種者と未接種者

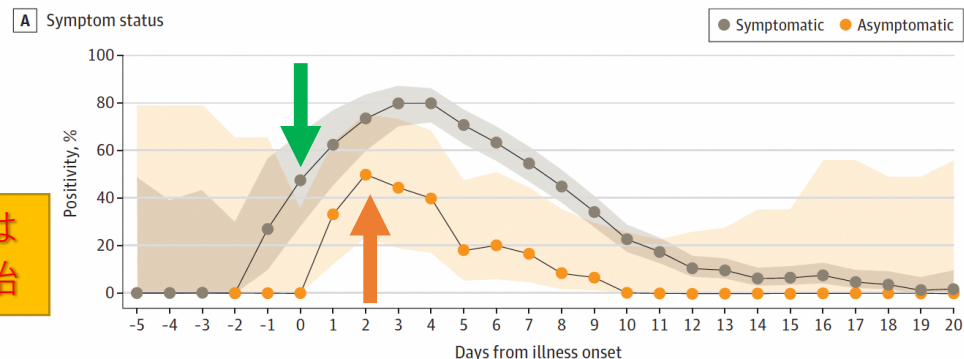
● 未接種者は早く「陽性」になる

● 接種者は、1回でも打ってれば陽性になる時期が遅れる。

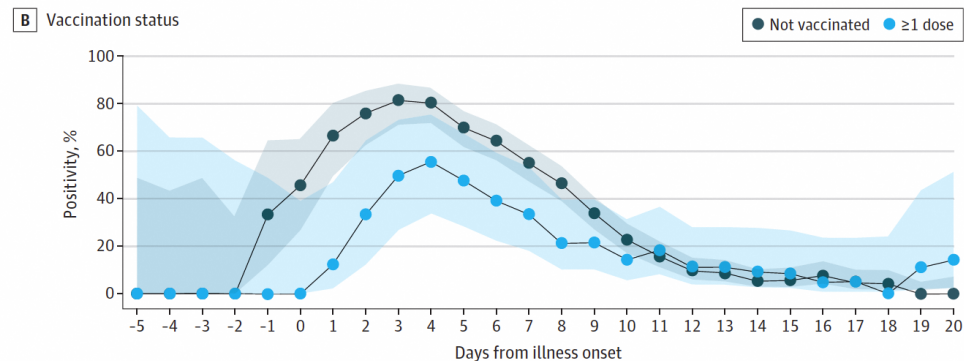


無症状者・有症状で陰性でも感染の可能性
クラスター発生時のスクリーニングにはPCR

Figure 2. Daily Percentage of Positive Home Antigen Tests by Symptom Status and Vaccination Status



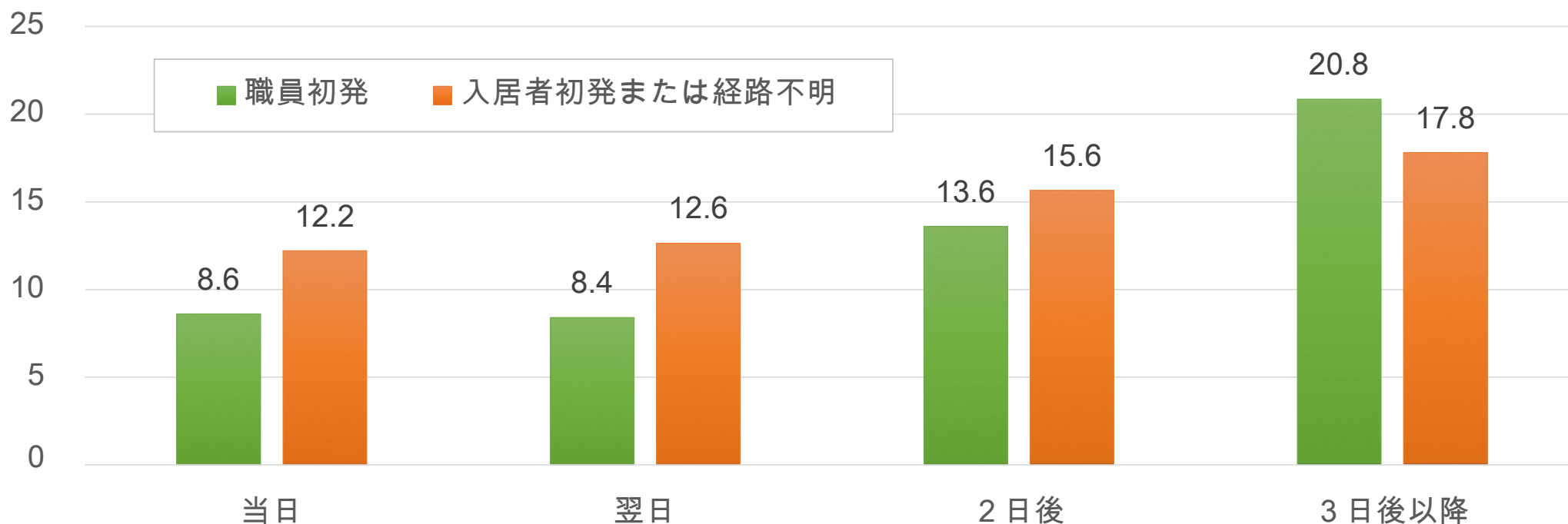
No. of participants	4	6	5	9	11	21	32	49	80	115	143	158	163	182	184	185	184	181	176	164	156	146	128	106	78	54
Symptomatic	4	6	5	9	11	21	32	49	80	115	143	158	163	182	184	185	184	181	176	164	156	146	128	106	78	54
Asymptomatic	1	1	1	2	2	7	9	10	9	10	11	10	12	12	15	11	13	11	10	7	7	3	3	4	4	3



No. of participants	4	5	4	8	9	22	33	50	33	75	107	133	145	166	171	168	170	165	159	149	140	129	111	98	73	50
Not vaccinated	4	5	4	8	9	22	33	50	33	75	107	133	145	166	171	168	170	165	159	149	140	129	111	98	73	50
≥1 dose	1	2	2	3	4	6	8	9	8	14	18	21	23	28	28	28	27	27	27	22	23	20	20	12	9	7

図11 覚知からスクリーニング実施までの日数と感染者数(沖縄県)

2022年4月1日から9月30日までに施設支援班が介入した社会福祉施設における発生事例のうち、スクリーニング検査(主に同一フロア全体)が実施された789件について、覚知から実施までの日数別、覚知した初発例別に最終的な感染者数を集計した。当日と翌日では明らかな差を認めないものの、その後は実施が遅れるほど感染が拡大する傾向が認められる。



スクリーニング	当日		翌日		2日後		3日後以降	
	職員	入居者 / 不明	職員	入居者 / 不明	職員	入居者 / 不明	職員	入居者 / 不明
初発 件数	106	77	99	109	83	123	93	99
感染者数	913	940	832	1,377	1,129	1,924	1,939	1,762